

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 5 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 8 日(2024.8.8)

【公開番号】特開 2023-16596(P2023-16596A)
【公開日】令和 5 年 2 月 2 日(2023.2.2)
【年通号数】公開公報(特許)2023-021
【出願番号】特願 2021-121039(P2021-121039)
【国際特許分類】

D 0 4 B 1/02(2006.01)

10

D 0 4 B 1/00(2006.01)

D 0 4 B 15/06(2006.01)

【F I】

D 0 4 B 1/02

D 0 4 B 1/00 Z

D 0 4 B 15/06 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 31 日(2024.7.31)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

編地にパイル組織を適用するには、パイル編成用シンカーを備えた横編機が使用される。図 2 に示すようにパイル編成用シンカー 10 には、作用腕 11 の先端側に地糸用掛爪 13 に加えてパイル糸用掛爪 14 が形成されている。そして編成の際に地糸用給糸口とパイル糸用給糸口を用い(不図示)、地糸用給糸口をパイル糸用給糸口よりも先行させて移動すれば地糸(シメ糸)をパイル糸よりも低くした状態で編針のフックに供給できる。この地糸とパイル糸の高低差によって形成されるギャップにパイル糸用掛爪 14 を挿入できればパイル編地を編成することができる。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、キャリアッジが編地の左右で反転しながら往復動する横編機の場合、キャリアッジが反転した後の編み始めでパイル糸と地糸の高低差を十分に大きく形成することはできずパイル糸用掛爪 14 を上記ギャップに確実に挿入できないという問題があった。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本実施形態で使用される横編機は、パイル編成用の特殊な構造の編針に代えて一般的な編針が装着されている点を除いて特許文献 1 と同等の横編機が使用される。したがってパイル編地を編成するときの地糸、パイル糸および地糸用給糸口、パイル糸用給糸口などの

50

動作や給糸条件、編目形成時のシンカーの開閉動作や編針の動きなどについても特別な言及がない限り同じであるのでその説明は省略する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

続く S 2 では、キャリッジを右行させ、編針 A を除いた編針 B - J で後側編地 1 b のコース編成を行う。ここで、S 1 で編目を形成した編針 A は、S 2 では作動させずに引き込んだ状態のままで後側編地 1 b のコース編成が行われる。そのため後側編地 1 b の編み始め側では編針 B が実質の編み始めの編針となる。編針 B が編目を形成するときには、地糸は既に引き込まれた状態にある編針 A のフックから地糸用給糸口へと延びるためパイル糸用給糸口へ延びるパイル糸との間に大きな高低差が形成されることになる。その結果、パイル糸用掛爪 1 4 を地糸とパイル糸間のギャップに確実に挿入することができる。つまり、地糸はパイル編成用シンカー 1 0 の地糸用掛爪 1 3、パイル糸はパイル糸用掛爪 1 4 にそれぞれ分離係止させた状態で編目を形成することができる。なお S 1 において編針 A で編目を形成することなく S 2 を行った場合には地糸とパイル糸の高低差を大きくすることはできない。

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

S 2 では、後側編地 1 b の編み終わり側に対向する前側編地 1 f の側端の編針 j にも給糸して編目を形成する。この編針 j は、キャリッジが反転して左行する際の前側編地 1 f の編み始め側の側端に位置する編針である。ここで編針 j による編目形成を行うのは S 1 における編み終わりで行った編成と同じ目的である。

20

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

1 筒状編地、前側編地... 1 f、後側編地... 1 b

1 0 パイル編成用シンカー、1 1 作用腕、1 3 地糸用掛爪、1 4 パイル糸用掛爪

30

40

50